

環境仕様



「2030年度燃費基準85%達成車」
ハイブリッド車 (FF)



「2030年度燃費基準80%達成車」
ハイブリッド車 (4WD)



「2030年度燃費基準65%達成車」
ガソリン車 (FF)



「平成30年排出ガス基準
75%低減レベル」認定車
ハイブリッド車



「平成30年排出ガス基準
50%低減レベル」認定車
ガソリン車

基礎情報		6AA-G87	6AA-G88	5BA-G85	5BA-G86		
車両型式		6AA-G87		5BA-G85	5BA-G86		
原動機	型式/総排気量 (L)	LEB-H1/1.496					
駆動方式		FF	4WD	FF	4WD		
駆動装置	変速機	7速デュアルクラッチトランスミッション		CVT			
燃料消費率*1	JCO8	燃費 (km/L)	28.0	27.4	26.0	19.0	16.4
		CO ₂ 排出量 (g/km) (燃費からの換算値)	82.9	84.7	89.3	122.2	141.6
	参考		2030年度燃費基準85%達成車		2030年度燃費基準80%達成車		2030年度燃費基準65%達成車
	WLTC	燃費 (km/L) *2	20.9	17.9	19.8	17.0	15.6
		市街地モード (WLTC-L)	17.9	17.0	17.0	13.2	12.2
	郊外モード (WLTC-M)	21.6	21.3	21.3	17.6	16.2	
	高速道路モード (WLTC-H)	22.0	20.3	20.3	18.9	17.2	
	CO ₂ 排出量 (g/km) (燃費からの換算値)	111.1	117.3	117.3	136.6	148.8	
排出ガス	適合規制・認定レベル	平成30年排出ガス基準75%低減			平成30年排出ガス基準50%低減		
	試験モード	WLTCモード					
		CO	0.025			0.05	
	認定基準値 (単位: g/km)	NMHC	0.013			0.025	
		NOx	-			0.005	
	PM	-			0.005		
	参考	九都県市指定低公害車の基準に適合 (平成30年基準)					
適合騒音規制レベル		平成28年騒音規制 規制値: 加速走行70dB (A)					
エアコン	種類/GWP値*3	HFO-1234yf/1*4					
冷媒	使用量	400g					
車室内VOC		自工会目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値以下)					
環境負荷物質削減	鉛*5	自工会2006年目標達成 (1996年使用量*6の1/10)					
	水銀*7	自工会目標達成 (2005年1月以降使用禁止*8)					
	六価クロム	自工会目標達成 (2008年1月以降使用禁止)					
	カドミウム	自工会目標達成 (2007年1月以降使用禁止)					
	自工会目標適用除外部品	*5:鉛バッテリー (リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *7:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンピネーションメーター、ディスプレイヘッドランプ、室内蛍光灯 (交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)					
環境への取り組み	樹脂、ゴム部品への材料表示	100g以上の樹脂部品全て					
	リサイクル	リサイクルし易い材料*9を使用した部品	インナーウェザーストリップ、ウインドウモール、ウォッシャーチューブ、エアフローチューブ、カウルトップガーニッシュ、グローブボックス、サンバイザー、シート表皮、センターコンソール、ドアライニング、バンパーフェース、ピラーガーニッシュ、ルーフモールなどの内外装部品				
		再生材を使用している部品	-				
		リサイクル可能率	車全体で95%以上*10				
	環境負荷物質使用状況等	鉛	使用部品: 塩ビ・ゴム部品、電子基板、電気部品のはんだ、圧電素子等 (PZTセンサー)				
	水銀	全廃済み					
	六価クロム	全廃済み					
	カドミウム	全廃済み					
その他	グリーン購入法適合状況	グリーン購入法適合車			-		

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用等) に応じて燃料消費率は異なります。*2 WLTCモード: 市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード: 信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード: 信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード: 高速道路等での走行を想定。*3 GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数) *4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下 (対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値) にすることを求められています。*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g (バッテリーを除く)。*6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。*8 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン (1998年 自工会)」に基づき算出。*9 この環境仕様書は2022年6月現在のものです。